

公民館だより

発行元
吉崎公民館
福井県あわら市吉崎 8-34
郵便番号 922-0679
電話 0776(75)1205

平成27年7月15日発行【第356号】

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp

第34回 吉崎湖畔の夕べ



やって来ました！夏まつり

「吉崎湖畔の夕べ・夏まつり」も皆様のお陰を持ちまして、今年で34回目を迎えます。今回も地区内外から大勢のゲストをお迎えして開催します。

メイン会場の吉崎なぎさ公園特設会場では、細呂木こども園の「太鼓演奏」を皮切りに、蓮如さんを題材とした吉崎小学校児童・こども園児のオペレッタの発表、山中の奥山中民謡会による「山中節」、児童や園児、地元有志による踊り、自主クラブからはカラオケクラブ発表、また Something For Others（音泉組）を迎えてのステージなど、皆で一緒に盛り上げて下さい。

地元青壮年団による名物屋台の開催も予定しています。また、湖面を彩る「水上かざり」、あかりの会による手作りの「灯籠」を眺め、涼風に吹かれての野店で、ひと時をお過ごし下さい。展示会場は、吉崎公民館を予定しています。吉崎小学校児童・こども園児の作品をはじめ、公民館講座生の作品に、個人出展として趣味を活かして作られた作品が展示されます。「金津創作の森」入居作家さんの特別展示もご期待下さい。

皆さん、お気軽に遊びに来て下さい。お待ちしております！

◎ 開催日：7月25日（土曜日）

◎ 開催時間：開場：17：30 開演：18：30

◎ ステージ会場：吉崎なぎさ公園

◎ 作品展示：吉崎公民館



お知らせ

7月25日（土曜日）第34回吉崎湖畔の夕べ 開催

オペレッタの練習に励む！



「湖畔の夕べ・夏まつり」が近づいてきました。吉崎小学校では「オペレッタ」の練習に励んでいます！先生方が吉崎に昔から伝わるお話をもとに脚本を作り上げ全児童が参加して創作オペレッタを発表します。

そのため、ステージの位置や動きを取り入れての練習、台本の暗記など子供たちは歌やダンス、芝居などの練習に励んでいます。

夏祭りが近づくにつれ、暑さも増してきます。練習できるのもあと僅か、仕上がりも順調で、みんな日に日にパワーアップしてきています。先生方も一生懸命に指導に励んでいます。

本番では元気で素晴らしい発表になると思います。25日（土曜日）本番に向けて残り少ない練習を頑張ってください。

また、当日ご来場いただき子どもたちの素晴らしい成長をぜひ見に来て下さい。

作品を鑑賞しよう！



「第34回吉崎湖畔の夕べ・夏まつり」開催に際し、吉崎公民館を会場に作品展を開催します。6月初旬に作品を募集して、たくさんの区民の皆さんからお問い合わせがありました。

出品者の皆さんの力作と日頃の成果を来て、見て感じて楽しんでください。

只今、ソーイング教室（自主クラブ）の講座生の皆さまも、吉崎小学校児童・金津こども園吉崎分園の園児たちも、湖畔の夕べに合わせ展示作品を制作してくれます。特別展示として、金津創作の森のご協力をいただき「金津創作の

森・入居作家」の作品展も予定しています。

今回も、楽しんでいただけるかと思えます。皆さまのご来場をお待ちしています。

入賞に輝きました！

6月14日(日)、第37回女性消火技術大会が福井空港駐車場で行われました。

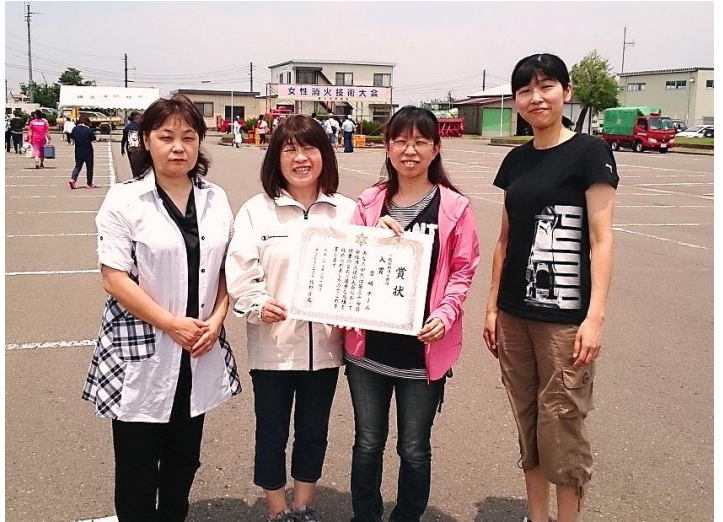
一般初期消火競技部門に、吉崎から清水千里さん、吉村都さん、湯谷なつ紀さんがチームとして出場いただき、58チーム中、5位に入賞しました。

出場していただいた方々には、夜遅くまで練習していただき、大会当日は日曜日にも係わらず早朝よりお忙しい中、参加いただき、有難うございました。

この大会は、女性防火クラブ員だけでなく、女性ならばどなたでも出場できる競技です。

来年は、他の種目にも出場できたらと考えていますので、皆さんの参加をお待ちしております。

最後になりましたが、末富区長会長様にはお忙しい中、応援に来ていただきありがとうございます。
あわら市女性防火クラブ 吉崎支部長 栗原好美



あわら観光PVロケ地マップ展示中



あわら観光PV(プロモーションビデオ)「AWARA HAPPY FILM」は、北陸新幹線金沢開業などを見据えた誘客策の一環で、2013年度から制作を進め、今年3月に完成しました。

映画「サクラサク」などの田中光敏監督のもと、あわら市内各地で撮影し、吉崎御坊跡等でも撮影が行われました。シナリオ公募や出演者オーディション、制作スタッフなど多くの市民が制作に関わった作品で、

この度、大阪コピーライターズ(OCC)主催の優秀な公告コピーを選ぶ2015年OCC賞で「審査委員長賞」を受賞しました。そのロケ地マップを吉崎公民館で展示し、多くの方々にご覧いただいています。(展示は17日金曜日迄)

福井もっとしっとこ(6)

羽柴秀吉が柴田勝家の居城・北庄城を攻める際、本陣を置いたと言われる天魔ヶ池がある山は、次のうちどれか。

- | | |
|-------|-------|
| A 足羽山 | B 兎越山 |
| C 八幡山 | D 文殊山 |

(答えは8ページ)



OPENして3ヶ月



越前加賀県境の館は、越前加賀地域に点在する豊かな宗教文化資源である「吉崎御坊跡」や「鹿島の森」、「戸田城聖生誕地」を結ぶ散策ルートや、「吉崎・塩屋ルート」の情報発信となる施設です。

また、越前加賀宗教文化街道を巡る「祈りの道」など、新たな観光資源として発信しています。施設自体が、福井県と石川県の県境に整備された全国でも珍しい施設ということで、連日多くの方が訪れていて、地域の文化情報の発信の拠点とし、また新たな観光サー

ビス提供の場としての役割を確立しつつあります。

これからは、地域の文化、暮らし、歴史、伝統、景観などをまちづくりの中で、それらを活かしたまちづくり型観光を目指すためにも、新たに地域資源を発掘し、コーディネートできる人材を育成して持続する観光のまちづくりを実現することで目標実現につなげていくことを目指しています。皆さんも、ぜひご協力をお願いします。

福井が誇る、世界三大〇〇、日本三大〇〇

- 世界三大輝石安山岩の柱状節理「東尋坊」
* 柱状節理：五角、六角の柱状の岩石の集まり
(他、ノルウェー西海岸、朝鮮半島の金剛山)
- 日本三大珍味「越前の雲丹(うに)」
(他、長崎の「からすみ」三河の「このわた」)
- 日本三大水仙群生地「越前海岸」
(他、房総半島、淡路島)
- 日本三大松原「気比の松原」
(他、佐賀の「虹の松原」、静岡の「三保の松原」)
- 日本三大木造大鳥居「気比神宮」(他、広島の厳島神社、奈良の春日神社)
- 日本六古窯「越前焼」(他、瀬戸焼、常滑焼、信楽焼、丹波焼、備前焼)



今月のことば『陰徳陽報』(いんとくようほう)

めだたない善行は報われるという言葉です。人知れぬ恩徳をほどこした者は、目に見えた恩恵を必ず受けるという意味です。善行は他人のためや、人に認めてもらうためにするものだけではなく、自分が幸せになるために必要なことだから、人知れず行うものだということです。

例えば、電車やバスで席を譲ってあげたり、財布が落ちたら落ちましたよって教えてあげたり、人に「ありがとう」と言われる行為です。小さなことからでも実践していきたいですね。



【吉崎再発見】 移動商家の北前船と取引先の間屋



北前船が高利益をあげたのは、船頭が商屋の主人となり、乗員が役職によって番頭手代丁稚の役割をはたし、大阪から北海道間を移動往復し、各地の湊の間屋に立ち寄り商品を売買し、利ざやをかせいで航海したからである。いわば移動商家であったともいえよう。

3月15日、春日宮の春祭りが終ると、船頭は乗組員を集め、船主に出発の挨拶をして氏神と御坊に詣り、吉崎浦を出発した。旅費は船頭持ちであった。途中京都本願寺

に立ち寄って詣り、3月下旬に大阪に着いた。そして翌日から船を点検して破損箇所を修繕し、道具類の補充など忙しい日が続く、船を淀川に浮かべる、船頭は連日大阪や堺の得意先の間屋をまわり売り、商品を買付けて持ち帰り、北海道海産物などの注文をとって歩いた。買い入れ商品の主なものは、砂糖・煙草・塩・木綿・綿・蠟などの日用品が多かった。

4月中旬頃に大阪湊を出帆し、瀬戸内の各湊の間屋と商品の売買をしながら日本海へぬける。敦賀港では縄や藁製品を買いつけ、昆布の注文をとり、三国湊では笏谷石を仕入れた。堀切湊口で帆をおろし錨を沈め、船頭たちはむかえに来た伝馬船で吉崎浦につき、半日程の家族との談らんの場が与えられた。また吉崎浦の商店に必要な物資は、伝馬船で搬入された。この頃に作成された吉崎浦絵図には、7つの棧橋を描いていることに注目していただきたい。堀切湊口を出帆した船は能登福浦へ向かった。越後奥州の各湊で商品売り、米や酒などを買いこみ、目的地北海道へ入り、積荷を売りさばいた。米や酒の需要が多い時は、奥州まで買い付けに往復したこともあった。

シリーズ The 時代『吉崎の返還を迎る』～蓮如上人以前の吉崎と以後の吉崎

吉崎の遺跡は、縄文時代から、奈良・平安・室町・戦国時代の史跡など、広範囲で数多く残っている。

吉崎は、平安時代の康和2年(1100年)に奈良興福寺兼春日神社の荘園に包活されて、興福寺の塔頭大乘院経覚の所領になっていた。

旧金津町は吉崎を「蓮如の里・吉崎」と標題にしているが、これは蓮如上人が吉崎を浄土真宗布教の拠点として文明3年(1471年)から同7年まで4年3カ月間在住して布教活動を行い、真宗王国といわれる程、多くの熱心な信者を育てたからである。

その頃の京都は、応仁元年(1467年)から始まった応仁の乱の最中で、世の中は騒然として、不安と迷信にあえいでいた。蓮如上人はその時代に吉崎に来て仏都吉崎を造り上げ多くの業績を今日に伝えている。



学生から見た『吉崎』 ～県立大フィールドワーク～



7月12日（日曜日）、吉崎で福井県立大学 地域経済研究所 講師 江川誠一先生の「防災に強いまちづくりを考える」の受講者11名（一年生）が導入ゼミの一環として、同地区においてフィールドワークを行いました。「馬場大路」、国指定史跡「吉崎御坊跡」、「東西吉崎別院」、「越前加賀県境の館」、「鹿島の森」等の歴史、自然資源を巡り、現状と課題を把握してもらい、吉崎公民館でワークショップを行いました。大学生から見た吉崎観光振興や、まちづくりについての貴重な意見を聞くことができました。これからは若い人たちが訪れたいまちづくりが必要です。

『清川あさみ ー美彩集ー』 採集した美の世界



幅広い年齢層にファンを持つ、清川あさみ氏とは、布や糸で写真に刺繍を施すなど、手わざを生かした独特な手法で作品を制作し独特の表現で注目を集めているアーティストです。女性を美しく魅せる作品に定評があり、「美女彩集」シリーズでは、衣装・ディレクション・アートワークを手がけ、旬な女優やアーティストとのコラボレーションで話題を呼んでいます。

本展では、代表作「美女彩集」シリーズや、「TOKYO MONSTER」シリーズ、新作「狼王ロボ」をはじめとする絵本シリーズなどの原画など展示します。

色彩豊かで独創性あられる、清川あさみが

採集した「美」の世界をお楽しみください。

「清川あさみ×夏木マリ」オープニングトーク 7月18日（土曜日）14：00～

整理券当日11：00～

■メセナ会ご招待券が少し公民館にあります。創作の森に行かれる方に差し上げますのでご連絡ください。 開催期間：7月18日（土）～9月27日（日）

駐在さん、だぁ〜い好き！ —その35—

こんにちは、吉崎駐在所の宮越通安です。

平素は、警察行政各般にわたり多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

1. 警察官を大募集しています！（高校卒 男女）

来年春採用の警察官を募集しています。今回は高校卒業（卒業予定）者が対象です。

- 願書・要項配布 7/1
- 締め切り 8/27
- 一次試験 9/19~9/20
- 二次試験 10月下旬ころ

男性のみならず、最近では女性も大活躍しています。次世代の福井県の治安を一緒に守りましょう！

試験の詳しい内容や給与などの処遇など詳しいことは吉崎駐在所の宮越までお問い合わせください。詳しくご説明いたします。（連絡先：73-0110まで）

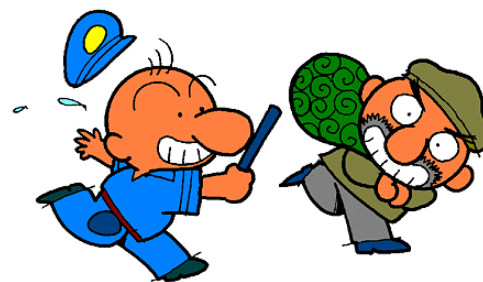
2. （新シリーズ）「泥棒の見方・考え方 ~防犯の新常識」

第1回（序論）犯罪者も時代とともに進化している。

かつて昭和の時代、東京警視庁管内に「猿の義ちゃん」と呼ばれる凄腕の泥棒がいました。彼は空き巣のプロで、時の警視庁の刑事たちに「天才」と恐れられた泥棒です。しかし、その天才も齢76歳の今年、玄関前に設置された防犯カメラの映像でいとも簡単に逮捕されてしまいました。天才と呼ばれた泥棒も時代の波に乗り遅れ、いまでは三流の泥棒に成り下がってしまいました。

現在の泥棒は、防犯カメラや鍵、あるいはプロファイルといったものを相手にしなければなりません。そのためハイテク防犯装備のさらに上手をいこうと日夜知識と技術を磨き、犯罪と言う戦いを我々に挑んできています。

犯罪者や犯罪は日々進化しており、我々はそれに対処し続けていかなければなりません。そうでなければ、泥棒に簡単に財産を奪われる結果になってしまうのです。今回は第2回「犯罪者が犯行敢行を決断する『3つの要素』」を送ります。



ビタミンと体について1 —ビタミンとは—

皆さんは、何かしらのサプリメントビタミン（健康食品）や医薬品のビタミンを摂取しているかと思いますが、ビタミンについての知識をもっていますか。

ビタミンとは、食物の成分のうち炭水化物、脂肪、たん白質以外の、有機化合物で人の健康保持のために必要不可欠な成分です。人が1日に摂取すべき必要量はミリグラム単位、またはその1,000分の1単位のマイクロミリグラムであらわされるような微量であるが、人の体内で合成することができないか、または必

要な量を合成することができないために食物の成分として、これを摂取することが必要です。なお、脂肪やたん白質の構成成分である脂肪酸やアミノ酸は通常ビタミンには加えません。



【ふるさとクロスワード】

* 答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。(×切は7月8日)
先月号の回答は、「シヤシヨウ (車掌)」で、Bの「運転手」でした。

今月の問題
パズルの中の A から D の4文字を並び替えて組み合わせ、ある言葉にして下さい。それと一番関係のある言葉は、下の3つのうちのどれでしょうか。
(A ; 奄美大島 B ; 伊豆大島 C ; オアフ島)

1		5	9	11		14
	A		B			
2				12		
		7				
3				13		D
		8	10			
4				C		

【よこのヒント】

- ① ; あわら市にある施設で、陶芸やガラスなど、体験学習できる施設は「金津〇〇」。
- ② ; 温泉の大浴場でよく見られる、取っ手の付いた桶のこと。
- ③ ; 物事の起ころうとする前ぶれ。兆候。
- ④ ; 能力のある学生に対して、金銭の給付・貸与を行う制度。
- ⑥ ; 胃が痛むこと。
- ⑦ ; 後から増し加えること。
- ⑧ ; 宵の後で、暁にならないころ。
- ⑫ ; 西洋将棋。キングにクィーンなどがある。
- ⑬ ; 休息。からだや心を休めること。

【たてのヒント】

- ① ; 夏目漱石が晩年に理想とした境地を表した言葉で、「小さな私にとられず、身を天地自然にゆだねて生きて行くこと」。
- ⑤ ; 結晶性固体を溶媒にとかし、冷却または蒸発などによって再び結晶させること。
- ⑨ ; 童謡で、「お手(てて)つないで 野道を行(ゆ)けば～みんな可愛(かわ)い 小鳥になって、歌をうたえば……♪」の題名は、「〇〇が鳴る」
- ⑩ ; 嫌な梅雨。秋だと、「秋の〇〇雨」。
- ⑪ ; 昭和22年、GHQの指揮の下、日本政府によって行われた農地の所有制度の改革を指す。農地解放ともいう。
- ⑭ ; せまい湾が複雑に入り込んだ沈水海岸のこと。このような海岸は、海岸線に対して垂直に開き、湾口に較べて奥の方が狭く浅くなっている入り江なので、沖合では低い津波も波高が急激に高くなり、大きな被害をもたらすことがある。



おひらせ

福井もっとしっとこ(6)
答え A 足羽山



吉崎湖畔の夕べ夏・まつり
 ステージ部門：吉崎なぎさ公園
 7月25日(土曜日) 開場：午後5時30分
 開演：午後6時30分
 展示部門：吉崎公民館
 7月25日(土曜日) 午後1時～午後6時
 26日(日曜日) 休館日
 27日(月曜日)～30日(木曜日)
 午前9時～午後5時